

うるま市

Shakyo

No.42

2025年
10月発行

編集・発行

社会福祉法人
うるま市社会福祉協議会
TEL : 098-973-5459
FAX : 098-974-5306
ホームページ: uruma-shakyo.net

社協だより

2025うるまキッズサマースクール



令和7年8月12日・13日・14日の3日間、「2025うるまキッズサマースクール」を開催し、市内の小中学生50名と高校生ボランティア25名(延べ)が参加しました。

防災や災害支援の体験として、包装食袋を使用したカレーづくりや段ボールと新聞紙を使用したスリッパづくり、水難事故を想定した着衣泳「浮いて待て」の体験を行いました。さらに、環境美化では海洋ゴミについて学び、貝殻を使ったワークショップ、伝統文化では、ハーリーの歴史を学び、実際にハーリー体験も行いました。

参加した子ども達からは、「カレーづくりでお皿を重ねて捨てたり、災害時のことを意識して片付けできた」「水難事故の時の対応方法を学ぶことができて、貴重な体験ができた」「今回学んだ事を、お家の人や友人、学校の先生などに伝えていきたい」などの感想が聞かれ、子ども達にとって夏休みの貴重な体験となりました。

さらに、『2025年度うるま市福祉まつり』のステージで、参加した子ども達の代表が学んだ事を発表する予定です。



ご支援・ご協力
ありがとうございました。

・沖縄ヤクルト(株)・(有)全沖フード・勝連漁業協同組合・勝連漁業協同組合平敷屋支部・琉球ビバレッジ(株)・うるま市赤十字奉仕団・うるま市文化財ガイドの会・クラフトサロン遊ひるぎ・NPO法人 防災サポート沖縄・日本赤十字社沖縄県支部・うるま市消防団・(一社)UITEMATE沖縄・うるま市商工会青年部・うるま市商工会女性部・(一社)プロモーションうるま・やなえもん
【順不同・敬称略】

“誰もが安心して暮らせる地域づくり”

令和7年度 第1層協議体開催！

～年を重ねても『安心して いきいきと 自分らしく』～



地域高齢者がいくつになっても住み慣れた地域で安心安全にいきいきと自分らしく過ごせるように、高齢者の困りごとなどの課題を把握し、その解決をお手伝いするため「第1層協議体」を設置しています。

令和7年6月27日、健康福祉センターうるみにて第1層協議体を開催し、市内の関係機関・福祉事業所で構成された委員の皆様と高齢者の「買い物支援」や「居場所づくりの新たな活動」、地域の困りごとに関する意見交換を行いました。

今後も、地域共生社会の実現に向けて、関係者と連携しながら、高齢者の生活を支援するため体制を整えて備える取り組みを目指します。



生活支援体制整備事業 地域づくり研修

～支え合いのまちづくりを目指して～

うるま市社協に配置されている生活支援コーディネーターが地域に足を運ぶ中で、災害時「自分の地域は大丈夫だろうか?」「避難ルートは?」「どのように逃げればよいのか?」そんな不安の声が、あちこちで聞かれるようになりました。

また、高齢者を狙った詐欺や犯罪への不安の声も多く聞かれます。こうした声を受け、生活支援コーディネーターは自治会や高齢者が集う場で、警察署と連携し、“誰もが安心して暮らせるまち”を目指した『地域づくり研修会』を開催しています。

災害時や犯罪のリスクが高まる中でも、「地域のつながり」が安心・安全の基盤となることを共有し、顔の見える関係づくりを大切にしたい取り組みを今後も継続していきます。



地域見守りネットワーク連絡会開催！

～企業や社会福祉法人等の地域福祉活動への参加～

誰もが安心して暮らせる地域づくりを行うため、市内の民間業者等と見守り協定を結び、仕事中に地域住民の日常生活の異変に気づいた時、社協へ連絡していただく体制をつくる「地域見守りネットワーク事業」を実施しています。今回、令和7年7月11日に地域見守りネットワーク連絡会を開催し、協定を結んでいる企業や社会福祉法人等の皆様との情報交換を行いました。



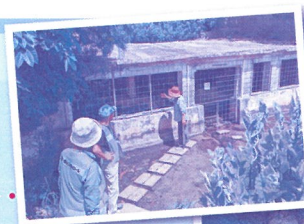
住民の**ふ**だんの**く**らしの**し**あわせのため、地域や関係団体、企業等と連携した取り組みを行っています。

地域の
活動を
ご紹介

民生委員・児童委員さんの 見守り活動

勝連の内間区と平安名区はお隣り同士ということもあり、民生委員・児童委員さん同士が協力し合って、週1回の見守り活動や学校の長期休み前の危険個所の確認を行っています。

このように、地域の方々が安心・安全に暮らせるよう普段から当たり前のように感じる生活風景の中に、民生委員・児童委員さん達の活動は溶け込んでいます。



うるま市



お仕事ちょこっとばすツアー



8月18日・19日の2日間、市内の若者を対象に『お仕事ちょこっとばすツアー』を開催しました。このイベントは、働くことの意義を学び、福祉等の仕事の魅力に触れ、未来の人材を育成することを目的に、市内の社会福祉法人(6か所)や一般企業(5か所)等に協力していただき、保育士や介護職などの仕事体験のほか、仕事の内容などについても丁寧にお話していただきました。市内の中高校生等10名が参加し、「楽しく体験しながら仕事のやりがいや大変さを学びました」との声がありました。

今回の体験が、今後の進路や将来を考えるヒントになってくれたら、うれしく思います。



ご協力ありがとうございました

- ・(社福)むぎの会 むぎの子第二こども園
- ・(社福)みどりの里福祉会 つくしんぼ保育園
- ・(社福)緑和会 栄野比の里
- ・ピオスの丘
- ・MEGAドン キホーテ うるま店
- ・うるま市役所 秘書広報課、産業政策課
- ・(社福)育伸福祉会 のびっ子保育園
- ・(社福)みどり葉福祉会 ひまわりっ童保育園
- ・(社福)与勝福祉会 デイサービスセンターかつれん
- ・(株)FMうるま
- ・スターバックスコーヒージャパン(株)沖縄 うるま安慶名店、江洲店

【順不同・敬称略】



音訳奉仕員養成講座

うるま市社協では、視覚に障がいのある方のために、活字の広報誌などの内容を音声にして情報を得る手助けをすることで、その社会参加を促進することを目的に、音訳奉仕員養成講座を開催しました。令和7年7月2日～8月13日の間、毎週水曜日全7回の講座を行い、8名の受講生が音訳について学び修了証を授与されました。

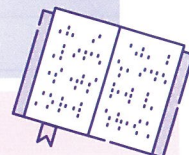
最終日の講座閉校式終了後には、朗読ボランティアとして活動している「すだち」へ加入し、声の広報等発行事業の活動へ参加する事になりました。受講生の皆様おめでとうございます。今後のご活躍に乞うご期待！

修了証書授与



点字・声の広報等発行事業とは

視覚障がい(身体障害者手帳をお持ちの方)のため、文字による情報入手が困難な市内在住の方のために、広報うるま・うるま市社協だよりなどの情報を音声訳・点字訳により定期的に無料で提供しています。



令和6年度 うるま市社協事業概要の報告

「第四次うるま市地域福祉計画」及び「第4次うるま市地域福祉活動計画」を基本とした、地域福祉を推進する各種事業に取り組めました。

また、本会の経営方針を示した「中期経営計画」を策定。および職員の育成を目的とした「人事評価」が始まり、不十分ながらも職員の育成・職員の意識向上と能力開発に向けた法人基盤の強化に努めました。

1	地域福祉の推進	コロナ後の社会変化に対応し、行政・地域・企業と連携し、困窮世帯や孤立する高齢者・子どもへの支援を強化し、住民主体の見守り体制や相談支援体制を展開しました。
2	重層的支援体制の整備	地域共生社会の実現に向け、「第4次地域福祉活動計画」に基づき、支え合い委員会の設置やネットワーク構築など新たな支援の場づくりを推進しました。
3	法人後見受任事業の準備	市民の権利擁護体制強化のため、法人後見受任体制を整備し、令和7年度から「法人後見受任事業」の開始を予定しています。
4	職員育成と組織強化	中期経営計画に基づき人事評価を導入し、職員の意識向上と能力開発に取り組みました。
5	財源確保と広報活動	「URUMAキッズサマースクール」に必要な資金造成として初の試みとなるチャリティライブ「ウルマニフェス」を開催し、福祉人材育成資金を確保しました。 広報活動は、紙媒体に加え、WebやSNSも活用して市民への周知の強化を図りました。

【令和6年度 うるま市社会福祉協議会 資金収支決算書】

収入の部	勘定科目	決算額(円)	支出の部	勘定科目	決算額(円)
	会費収入	7,494,664		人件費支出	303,256,709
	寄附金収入	8,714,268		事業費支出	29,836,669
	経常経費補助金収入	146,796,011		事務費支出	32,185,965
	受託金収入	143,270,003		貸付事業支出	94,000
	貸付事業収入	95,000		助成金支出	15,960,462
	事業収入	1,158,304		負担金支出	643,273
	障害福祉サービス等事業収入	10,510,810		固定資産取得支出	914,640
	受取利息配当金収入	52,521		積立資産支出	1,418,120
	その他の収入	20,595,156		その他の活動による支出	7,751,220
	固定資産売却収入	345,224			
	積立資産取崩収入	14,502,180			
	その他の活動による収入	35,530,680			
	前期末支払資金残高	25,038,411			
	①収入の部合計	414,103,232		②支出の部合計	392,061,058
				①－②決算額	22,042,174

ご寄附ありがとうございます
令和7年4月から令和7年7月受付まで(順不同・敬称略)

御芳名	金額	故人名	御芳名	金額	故人名
兼城 悦子	100,000	兼城 賢次	仲村 初子	100,000	仲村 清
川端 優	50,000	川端 美代子	天願 八重子	100,000	天願 安晴

〈一般寄附〉

御芳名	金額	使途	御芳名	金額	使途
建設工事共同企業体【(有)新秀建設・(有)奥間重機土木・(株)モリ建設】	1,000,000	社会福祉事業へ	うるま介護 タクシー47	10,000	社会福祉事業へ
唐澤 雅幸	20,000		阿波根 昌興	300,000	
(株)P.E.C	100,000		うるま歌謡友の会	900,000	
J.T	50,000		ナイトパブ コルネット	100,000	
安里 奈緒美	50,000		おきなわ・ふぁみりー結の会	112,000	

〈指定寄附〉

御芳名	金額	使途
ひがしの大空こども園	5,803	フードバンク
K&YT 津嘉山 弘二	50,000	子どもの居場所づくり



福祉情報をイロイロ発信しています！
フェイスブックやLINE、Instagramを行っています。
QRコードからもアクセスできますのでご覧ください。

